

2024 年度第 1 回東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1. 開催日時：2024 年 9 月 11 日（水）14:00～16:05
2. 開催形式：ハイブリッド会議形式（東海大学伊勢原キャンパス 1 号館 2 階 第 1 会議室+Zoom）
3. 出席者：
【監査委員】長谷川 委員長、内嶋 委員、山口 委員、石井 委員、安田 委員、千野 委員
【病 院 側】渡辺 病院長、大上 副院長/医療安全管理責任者、
原 副院長/病院運営企画室長/事務部長、横田 副院長/看護部長、
守田 医療監査部長、鈴木 薬剤部長、
丸谷 医薬品安全管理室長/医薬品安全管理責任者、
本村 医療機器安全管理室長/医療機器安全管理責任者、沖 医療監査部次長、
梅澤 医療監査部次長/医療安全専従医師、上村 医療監査部次長、
水元 医療監査部次長/医療安全対策課長/専従医療安全管理者、
山野 医療監査部付医師、堤 医療安全対策課/専従医療安全管理者、
平井 医療安全対策課/専従医療安全管理者、
清水 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、
鈴木 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、
川添 医療機器安全管理室/医療安全専任技師、
笠原 医療放射線安全管理室/専従診療放射線技師、
萩野 病院運営企画室/事務課（経営企画）課長、
桑久保 病院運営企画室次長/事務課（総務）課長、栗木 医療安全調査課長
石坂、飯塚、須田 医療安全対策課/事務局
4. 配布資料：1) 監査委員会次第 2) 監査委員名簿 3) 医療安全管理業務の実施状況
5. 監査概要
 - 1) 出席者紹介
・土方委員から石井委員に変更
 - 2) 監査委員会の成立
監査委員会規程第 5 条第 3 項により、委員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立した。
 - 3) 医療安全管理業務の実施状況について
 - ①医師のレポート提出状況、画像レポート・病理報告の未読への対応、医療事故調査制度に該当する事例、高難度新規医療技術の申請状況、Safety-II に関する取り組みについて報告。
 - ②インシデント/アクシデントレポート経時的分析による 2023 年度の分析結果、2023 年度上半期レポート・事例検討による安全対策の評価、2023 年度下半期レポート・事例検討による安全対策について報告。
 - ③薬剤関連のインシデントレポートのまとめ、レポート事例検討と安全対策の評価（2023 年度上半期）、レポート事例検討と安全対策（2023 年度下半期）、外来処方の疑義照会事例、未承認薬・適応外使用薬の使用、Safety-II に関する取り組みについて報告。
 - ④医療機器安全管理における 2023 年度上半期と下半期レポート数、2023 年度上半期レポート事例の対策と評価、2023 年度下半期レポート事例の対策、生体情報モニタに関する継続報告事項、未承認新規医薬品等申請、その他課題事項について報告。
6. 監査結果
 - 1) 様々な取り組みをされていることはよく理解できた。レポートの全体的な提出件数はもう少し増えてもよいと思う。そのためにもレベル 0 のレポート提出を促す取り組みをお願いする。また、医薬品のところで報告があった KYT の取り組みのように各部署内に留まらず、多職種が連携し病院一体となって取り組むことで、職員の理解と医療安全に対する意識も変わり、さらに良くなる

と思う。ぜひ進めていただきたい。

- 2) 行政の立場から、市民が安心して医療サービスを受けることができるために、様々な取り組みが行われていることに感謝する。今後も優先順位の高い課題から取り組んでいただき、更なる医療安全の確保をお願いする。
- 3) 医療従事者のみの考えや枠組みで物事を考えてしまうと、実は防ぎ得た事故にも関わらず防ぐことができなかったということがある。本監査委員会も該当するが、院内のみの考えで完結するのではなく広い視野を持つことが重要である。また、事故やヒヤリハットを防ぐには Safety-I の考え方に目が行きがちであるが、取り組み始められている Safety-II の視点から考えることを浸透させ、医療従事者が気持ちよく働ける職場環境を整えることで、結果として患者が安全に医療を受けられることに繋がればよいと思う。
- 4) 事例検討と安全対策が非常に良くできている。大学病院は医療の最先端であるだけではなく、医療安全対策でも最先端であると思うため、引き続き努力をお願いする。
- 5) 医療安全対策として、事例内容を細かく検討し対策を練った上で、セイフティ・トピックス等で職員に周知されていることを大変素晴らしいと思う。引き続きお願いする。

7. 総 評

病院全体として医療安全に真摯に取り組まれているということは今回も十分に伝わった。その点に関して高く評価する。

本日、監査委員からいただいた多くのコメントや質問に対し、優先順位の高いもの、取り入れることが可能なものから、病院全体で対策を検討いただきたい。

また、Safety-IIに取り組まれているが、おそらく今後、全国の多くの病院が Safety-II を取り入れていくことになると思われる。是非、貴院が手本となるような取り組みを発信していただきたい。

最後に、現在大学病院や特定機能病院は大変難しい立ち位置に置かれている。医療安全のみならず、感染対策、働き方改革、収益、臨床の質、学生等の教育、臨床研究等、どれ一つとして手を抜くことはできない。これらをバランスよく取り組んでいただき、且つ、やはり医療安全が最優先課題であることは間違いないため、引き続き努力をお願いする。

8. そ の 他

- 1) 2024 年度第 2 回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会の監査項目について
 - ・課題、意見等があればメールにて、事務局まで連絡をお願いしたい。
 - ・可能な限り対面での出席をお願いする。
- 2) 第 2 回の開催日
 - ・2025 年 3 月 12 日（水）14：00～開催予定。

以 上